

## 2. 社会教育系施設編

## 2-1 社会教育系施設の現状と課題

### (1) 施設類型別概要

#### ①設置目的・利用状況

##### 〈資料館等〉

資料館等は、本市の特徴的な歴史・文化により、受け継がれてきた歴史資料や文化財を適切に管理・保存整備し、散逸することがないように継承活用を図ることを目的に設置されています。

平成30年度の資料館等の利用者数は、口之津歴史民俗資料館が約4,300人と最も多く、北有馬歴史民俗資料館及び縄文の館（体験学習施設）は、利用実績がありません。資料整理施設では、開発事業（圃場整備）に伴う発掘調査による出土遺物の整理作業を行っています。

##### 〈図書館〉

図書館は、市民全ての生涯学習を支え、知の地域づくりの拠点としての役割を持つ施設として、また、地域の文化や情報を提供する拠点施設として設置されています。

平成30年度の蔵書数は約554,500冊で、利用者数は約82,000人となっています。図書館別の利用者数は口之津図書館が約16,000人と最も多く、北有馬図書室が約3,700人と少ない状況です。

##### 〈文化芸術施設〉

アートビレッジ・シラキノは、廃校となった旧白木野小学校を文化芸術を核とした地域交流拠点施設として改修を行い、平成30年9月に開所した施設です。国内外の若手芸術家を招へいし、共に創作活動を行いながら地域住民等との交流を図り、芸術や異文化に対する相互理解と創造性豊かな地域づくり、人づくりを目的としています。平成30年度の利用者数は、約1,800人となっています。

#### ②これまでの施設の規模や配置

##### 〈資料館等〉

資料館等は、旧町時代の施設がそのまま市に引き継がれており、深江町に2施設、北有馬町に2施設、口之津町に1施設が設置されています。また、用途別では、資料館3施設、資料整理施設1施設、体験学習施設1施設となっています。統廃合による廃校施設などを利用した施設もあり、延床面積は北有馬歴史民俗資料館の1,078㎡から縄文の館の144㎡までと規模やテーマなども様々です。

##### 〈図書館〉

図書館は、旧町時代の施設がそのまま市に引き継がれています。平成25年に新たに2つの図書室（布津町、北有馬町）が整備されたことにより、町毎に設置されました。

しかし、建設当時の経緯や地区状況により独立館（3施設）と複合施設（5施設）があり、延床面積は、原城図書館（独立館）1,713㎡から北有馬図書室（複合施設）96㎡までと様々となっています。

##### 〈文化芸術施設〉

アートビレッジ・シラキノは、廃校となった旧白木野小学校を改修して開設しており、文化芸術を核とした市内唯一の施設です。延床面積は1,835㎡で内部は事務室、ギャラリー・工房のほか宿泊施設も整備しています。

#### ③施設整備状況

##### 〈資料館等〉

資料館等は5施設で、昭和48年から平成18年までに建設されており、築30年未満の施設が3施設、築30年以上を経過した施設が2施設となっています。口之津歴史民俗資料館は、明治32年建築の県有形文化財に指定されている施設（旧長崎税関口之津支署庁舎）も含んでいます。

## 〈図書館〉

独立館の図書館は3施設で、平成2年から平成18年までに建設されており、3施設ともに築30年未満の施設となっています。

公立公民館等との複合施設となっている図書館（室）は5施設で、昭和45年から平成16年までに建設されており、築30年未満の施設が4施設、築30年以上を経過した施設が1施設となっています。

## 〈文化芸術施設〉

アートビレッジ・シラキノは、昭和54年に小学校の校舎として建設されており、築40年以上を経過した施設となっています。

## (2) 対象施設一覧

### 〈資料館等〉

No.	施設名	棟名	地区	築年	経過年数	構造	延床面積(㎡)	備考(土地)
1	深江埋蔵文化財整理室	施設棟	深江	S48	46	鉄骨造	310.00	所有
2	深江埋蔵文化財・噴火災害資料館	施設棟	深江	H18	13	鉄骨造	226.06	所有
3	縄文の館	施設棟	北有馬	H10	21	鉄筋コンクリート造	144.00	所有
4	北有馬歴史民俗資料館	施設棟	北有馬	H7	24	鉄筋コンクリート造	1,078.97	所有
5	口之津歴史民俗資料館	施設棟他	口之津	S62	32	鉄筋コンクリート造	1,000.89	所有

### 〈図書館〉

No.	施設名	区分	地区	築年	経過年数	構造	延床面積(㎡)	備考(土地)
1	深江図書館	複合施設	深江	H15	16	鉄筋コンクリート造	337.00	所有
2	布津図書室	複合施設	布津	S45	49	鉄筋コンクリート造	136.00	所有
3	有家図書館	複合施設	有家	H8	23	鉄筋コンクリート造	309.97	借地
4	西有家図書館	複合施設	西有家	H16	15	鉄筋コンクリート造	711.02	所有
5	北有馬図書室	複合施設	北有馬	H6	25	鉄筋コンクリート造	96.00	所有
6	原城図書館	独立館	南有馬	H18	13	鉄筋コンクリート造	1,713.77	借地
7	口之津図書館	独立館	口之津	H5	26	鉄筋コンクリート造	1,234.02	所有
8	加津佐図書館	独立館	加津佐	H2	29	鉄筋コンクリート造	497.00	所有

### 〈文化芸術施設〉

No.	施設名	棟名	地区	築年	経過年数	構造	延床面積(㎡)	備考(土地)
1	アートビレッジ・シラキノ	本館他	南有馬	S54	40	鉄筋コンクリート造	1,835.00	所有

※棟が複数ある施設は、代表となる棟の築年、経過年数、構造を記載し、延床面積は全ての棟を合計した面積を記載しています。

## (3) 社会教育系施設の課題

### 〈資料館等〉

・北有馬歴史民俗資料館においては、市立幼稚園との複合施設で、保安上の理由から利用制限もあり、長年一般の利用実績がない状態です。そのため、保管施設として利用しているのが現状であるため、民俗資料保管施設としての利用について検討する必要があります。

・民具などの民俗資料については、保管施設がないことから、保管先を早急に確保する必要があります。

・深江埋蔵文化財整理室は、出土遺物の整理作業の機能に加え、市内全域の開発事業による発掘出土品の保管庫の役割も担っていることから、手狭となっています。

・老朽化により、今後、建替え・改修が必要となる施設があります。

・縄文の館は、国指定史跡原山支石墓群に隣接する体験学習施設ですが、利用がないことから、廃止等を検討する必要があります。

### 〈図書館〉

- ・独立館においては、築30年近い施設もあり、長寿命化を図るうえで、今後、改修が必要となっています。
- ・複合施設においては、布津公民館など築50年近い施設もあり、改修または建替えが必要となっています。

### 〈文化芸術施設〉

- ・廃校を活用し施設内部を改修して整備した施設ですが、施設本体については老朽化等により改修の必要があります。

## 2-2 施設整備検討結果

### (1) 適正規模・適正配置の進め方

南島原市公共施設マネジメントの基本方針に沿い、公共施設の適正配置と施設総量の縮減を図ります。

建替えや改修をする際は、市民ニーズや利用需要等により、ユニバーサルデザイン化の推進を図ります。

### ①標準的な施設規模

#### 〈資料館等〉

資料館（北有馬歴史民族資料館除く）は、公開する展示スペース等を考慮した結果、現在の施設規模とします。

埋蔵文化財整理室は、今後の開発事業による発掘調査箇所が増加や、分散保管している埋蔵文化財調査による出土遺物の集約を考慮した結果、930㎡程度を標準的な規模とします。

民俗資料保管施設については、北有馬歴史民俗資料館を利用することとし、現在の施設規模とします。

#### 〈図書館〉

図書館は、将来の人口減により利用者の減少が考えられることから、主幹施設である原城図書館は、規模を縮小した1,300㎡程度を標準的な規模とします。また、その他の図書館（室）については、現行の有家図書館の規模に閉架書庫を考慮した結果、400㎡程度を標準的な規模とします。

#### 〈文化芸術施設〉

アートビレッジ・シラキノは、芸術文化活動の拠点施設であり、版画を中心とした工房となっています。今後、芸術家や美術大学等の利用増や、他の分野の拡大も考えられることから、工房・ギャラリー、宿泊エリア等を考慮した結果、1,600㎡程度を標準的な規模とします。

### ②具体的な配置目標

#### 〈資料館等〉

資料館は、歴史民俗や自然科学等に関する資料を収集・保管・展示し、その教育的活用を図り、文化の発展に寄与するため設置された施設です。旧町の地域特有の異なったテーマで設置されていることを考慮した結果、2箇所の配置とします。

埋蔵文化財整理室及び民俗族資料保管施設については、それぞれ1箇所の配置とします。

#### 〈図書館〉

図書館は、生涯学習や地域づくり、また、地域の文化や情報を提供する拠点施設として重要な役割を担うことを考慮した結果、町毎に1箇所の配置とします。

#### 〈文化芸術施設〉

アートビレッジ・シラキノは、廃校を活用し、芸術文化活動の拠点施設として位置づけているため、現在の配置とします。

### ③適正配置方法

#### <資料館等>

老朽化等により、建替え・改修を必要とする施設は、適正規模・適正配置に併せて建替え・改修を行います。利用が少ない施設については、統廃合、転用や廃止等を検討します。

深江埋蔵文化財整理室については、老朽化や遺物の増加により手狭となっており、適正な保存環境を確保するため、利用していない施設の活用を検討します。

#### <図書館>

老朽化等により、建替え・改修を必要とする施設は、適正規模・適正配置に併せて建替え・改修を行います。その際は近隣施設との複合化等を検討します。

#### <文化芸術施設>

老朽化等により、建替え・改修を必要とする場合は、適正規模・適正配置に併せて建替え・改修を行います。老朽化等により不要となる棟は、廃止等を行います。

## (2) 検討結果一覧

#### <資料館等>

第1期 (H29～R8)	第2期以降 (R9～R38)
深江埋蔵文化財整理室	深江埋蔵文化財・噴火災害資料館
	縄文の館
	北有馬歴史民俗資料館
	口之津歴史民俗資料館



No.	施設名	棟名	方向性	説明
1	深江埋蔵文化財整理室	整理室	移転 (除却)	R8までに他の施設へ移転を検討します。移転後、既存の建物は除却します。

#### <図書館>

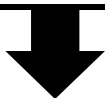
第1期 (H29～R8)	第2期以降 (R9～R38)
布津図書室	深江図書館
北有馬図書室	有家図書館
	西有家図書館
	原城図書館
	口之津図書館
	加津佐図書館



No.	施設名	区分	方向性	説明
1	布津図書室	複合施設	建替え (複合)	R4～6を目標に建替えます。 その際、布津支所、布津公民館との複合化を検討します。
2	北有馬図書室	複合施設	改修 (複合)	R5～6を目標に改修します。 その際、北有馬支所との複合化を検討します。

<文化芸術施設>

第1期 (H29～R8)	第2期以降 (R9～R38)
アートビレッジ・シラキノ	



No.	施設名	棟名	方向性	説明
1	アートビレッジ・シラキノ	本館	改修	R7～8を目標に改修します。
2	アートビレッジ・シラキノ	給食調理室	除却	R7を目標に除却します。

(3) 建替え・改修計画

<集会施設>

No.	施設名	区分	方向性	計画年度	築年	延床面積(m <sup>2</sup> )	
						実施前	実施後
1	布津図書室	複合施設	建替え(複合)	R4～6	S45	136.00	400.00
2	北有馬図書室	市民ホール	改修(複合)	R5～6	H6	96.00	-

<文化芸術施設>

No.	施設名	棟名	方向性	計画年度	築年	延床面積(m <sup>2</sup> )	
						実施前	実施後
1	アートビレッジ・シラキノ	本館	改修	R7～8	S54	1,622.00	-

(4) 除却計画

<資料館等>

No.	施設名	棟名	方向性	計画年度	築年	延床面積(m <sup>2</sup> )
1	深江埋蔵文化財整理室	整理室	除却	R8	S48	310.00

<文化芸術施設>

No.	施設名	棟名	方向性	計画年度	築年	延床面積(m <sup>2</sup> )
1	アートビレッジ・シラキノ	給食調理室	除却	R7	S54	55.00